

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【公表番号】特表 2001-523287(P2001-523287A)

【公表日】平成 13 年 11 月 20 日 (2001.11.20)

【出願番号】特願平 10-547086

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 J 3/12

C 0 8 L 101/14

【F I】

C 0 8 J 3/12 Z

C 0 8 L 101/14

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 4 日 (2005.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年3月 4 日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第547086号

2. 補正をする者

名称 ダウ グローバル テクノロジーズ インコーポレイティド

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

明細書及び請求の範囲

5. 補正対象項目名

明細書及び請求の範囲

6. 補正の内容

a) i) 明細書第3頁第12～13行目に「少なくとも20グラムの0.9重量パーセント食塩水溶液を」とあるのを『0.9重量パーセント塩水溶液少なくとも20グラムを』と補正します。

ii) 明細書第12頁第6行目及び第8行目に「食塩」とあるのを『塩』と補正します。

b) 請求の範囲を別紙のとおり補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. 170℃を超える温度で10分を上回る間熱処理された水性流体吸収性ポリマー粒子を含む組成物であって、該組成物は熱処理後に有機溶剤または、水に不溶かつ膨潤不能の粉末の不在下において添加剤水溶液により再加湿されており、かつ該組成物の総重量を基準にして1ないし10重量パーセントの水を含み、さらに該組成物は0.3psi (21,000ダイン/cm²) の圧力下で0.9重量パーセント塩水溶液少なくとも20グラムを吸収する能力、すなわち20グラム/グラムを上回る60分0.3psi (21,000ダイン/cm²) AULを特徴とする組成物。
2. 該添加剤水溶液が一価または多価金属塩を含有することを特徴とする請求項1記載の組成物。
3. 該添加剤水溶液が一価金属塩を含有することを特徴とする請求項2記載の組成物。
4. 該添加剤水溶液が1ないし40パーセントのKClまたはNaCl溶液であることを特徴とする請求項2記載の組成物。
5. 該添加剤水溶液が20パーセントNaCl溶液であることを特徴とする請求項2、3または4記載の組成物。
6. 該一価金属塩が総SAPを基準にして0.05ないし5パーセントの量で用いられることを特徴とする請求項2、3または4記載の組成物。
7. 該添加剤水溶液がプロポキシシル化ポリオール類を含有することを特徴とする請求項1記載の組成物。
8. 該添加剤水溶液が硫酸塩系金属塩類を含有することを特徴とする請求項2記載の組成物。
9. 該添加剤水溶液がアルミニウムまたはナトリウムの塩化物もしくは硫酸塩を含有することを特徴とする請求項8記載の組成物。
10. 該添加剤水溶液が硫酸ナトリウムを含有することを特徴とする請求項8記載の組成物。
11. 該添加剤水溶液が硫酸アルミニウムを含有することを特徴とする請求項9記載の組成物。
12. 該添加剤水溶液が一価および/または多価塩ならびにプロポキシシル化ポリ

オールの混合物であることを特徴とする請求項1記載の組成物。

13. 組成物が1ないし6パーセントの水を含むことを特徴とする請求項1記載の組成物。

14. 該多価金属カチオンまたはプロポキシシル化ポリオールが乾燥SAPの総重量を基準にして500ないし5,000ppmの量で用いられることを特徴とする請求項2記載の組成物。

15. 多価金属カチオンまたはプロポキシシル化ポリオールが乾燥SAPの総重量を基準にして1,000ないし2,500ppmの量で用いられることを特徴とする請求項14記載の組成物。

16. (a) ゲル化重合プロセスにより水に膨潤可能なヒドロゲルを調製し；

(b) 該ヒドロゲルを乾燥及び分粒して、乾燥し分粒した粒子を含む組成物を生成させ（該組成物は50ないし1500ミクロンの粒度分布を有する粒子を含み）；

(c) 熱処理し；そして

(d) 有機溶剤または、水に不溶の無機粉末の不在下で、該組成物を添加剤水溶液と接触させることを含む方法であって、さらに該組成物が20グラム／グラムを上回る60分0.3psi (21,000ダイン／cm²) AULを特徴とする方法。

17. (a) モノマー混合物をゲル化重合して、水に膨潤可能なヒドロゲルとし
；

(b) 該ヒドロゲルを乾燥及び分粒して、乾燥し分粒した粒子を含む組成物を生成させ（該組成物は50ないし1500ミクロンの粒度分布を有する粒子を含み）；

(c) 該生成組成物を熱処理し；そして

(d) 有機溶剤または、水に不溶の無機粉末の不在下で、該組成物を添加剤水溶液と接触させることにより調製される高吸収性ポリマー組成物であって、さらに該組成物が20グラム／グラムを上回る60分0.3psi (21,000ダイン／cm²) AULを特徴と高吸収性ポリマー組成物。

18. (a) ゲル化重合プロセスにより水に膨潤可能なヒドロゲルを調製し；

(b) 該ヒドロゲルを乾燥および分粒して、乾燥し分粒した粒子を含む組

成物を生成させ（該組成物は50ないし1500ミクロンの粒度分布を有する粒子を含み）；

（c）有機溶剤または、水に不溶の無機粉末の不在下で、該組成物を添加剤水溶液と接触させ、ここで該組成物は20グラム／グラムを上回る60分0.3psi（21,000ダイン／cm²）AULを特徴とし；

（d）該組成物を乾燥および／または熱処理し；そして、任意に

（e）該生成SAPが10パーセント以下の水を含有するように該熱処理SAPを再加湿することを含む方法。

19. 該添加剤溶液が架橋剤を含有する溶液であることを特徴とする請求項18記載の方法。

20. 該架橋剤が該SAPのポリマー鎖間に補足的架橋結合を形成することができる二官能または多官能性薬剤であることを特徴とする請求項19記載の方法。